

問題6 つぎの文章を読んで、質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

最近、海外の富裕層(※1)の中には、わざわざ日本の病院まで検査に来る人が増えている。日本のほうが自国の病院より新しい機械があり、専門の医者がいるため、高い旅行費用をかけても日本の病院で検査するほうがよいと考える人が多くいるのだ。また、病院で検査した後、各地を観光したり、買い物したりできるというのも魅力の一つなのだろう。

このような旅行は、「①医療(※2) ツーリズム」と呼ばれている。これは、日本だけで行われているものではなく、タイやインドでは、もっと以前から行われているそうだ。

日本でも、医療ツーリズムは、注目されており、国も旅行会社も、医療ツーリズムによって来日する外国人が増えることを期待している。病院のなかにも、通訳を置いたり、入院設備を整えたりして、②この状況に対応するため準備をしているところもある。

しかし、問題点もある。今、日本国内では、医師不足が問題になっているのだ。特に、都市以外の人口の少ない地域には医師や病院が少なく、病気になったら何時間もかけて病院に行かなくてはならないという人がたくさんいる。このような現状(※3)をどうするのか。医師の中には、「高いお金を払ってくれる外国人富裕層ばかりに力を注いだら、日本国内の患者が困るのではないか」と、心配する人も多い。

外国人も日本人も、金持ちもそうでない人も、平等に、よい医療を受ける権利はあるはずだ。

(※1) 富裕層：金持ちの人たち

(※2) 医療：病院で行う治療や手術、検査など

(※3) 現状：現在の状態

34 ①「医療ツーリズム」の説明として、最もよいものはどれか。

- 1 観光しながら、近くの病院で治療や検査を受けること
- 2 自分の国ではなく、海外で治療や検査を受けること
- 3 タイの人が、日本の病院で治療や検査を受けること
- 4 金持ちの人が、いい病院で治療や検査を受けること

35 ②この状況とは、どんなことを指しているか。

- 1 タイやインドのほうが進んでいるという状況
- 2 海外から、富裕層が検査を受けにくる状況
- 3 海外から、たくさんの観光客が来日する状況
- 4 旅行会社が、海外から観光客を連れてくる状況

36 「医療ツーリズム」が増えることで、心配されることは、どんなことか。

- 1 日本の地方の人を見る医師が減ってしまうのではないか
- 2 日本の地方の医師の治療代が減ってしまうのではないか
- 3 日本人が入院できる病院が減ってしまうのではないか
- 4 外国人を入院させる病院が減ってしまうのではないか

37 この文を書いた人の考えと合っているものはどれか。

- 1 日本の観光のために、たくさんの外国人に日本の病院を利用してほしい。
- 2 日本は医者不足なので、外国人は日本の病院を利用しないでほしい。
- 3 日本は医師不足なので、外国人の医師に日本の病院に来てほしい。
- 4 だれもが同じように、日本の病院を利用できるようになってほしい。